



目 次

審査員講評 永井一正	1
大 賞	2
A:装飾部門	4
B:サイン部門	7
C:輸送機器部門	8
D:実験部門	9
学生部門	10
審査員講評 田中一光/福田繁雄/菊竹清訓/内田 繁	12
海外特別賞	16
ご挨拶 中川幸也	17
応募要項	
表紙デザイン/永井一正	

CONTENTS

GRAND PRIX AWARD	2
A: DECORATION CATEGORY	4
B: SIGN CATEGORY	7
C: TRANSPORT MACHINE CATEGORY	8
D: EXPERIMENT CATEGORY	9
STUDENT CATEGORY	10
JUDGES' COMMENTS	14
Kazumasa Nagai / Ikko Tanaka / Shigeo Fukuda / Kiyonori Kikutake / Shigeru Uchida	
SPECIAL OVERSEAS AWARD	16
ACKNOWLEDGEMENT	17
Yukiya Nakagawa	
SOLICITATION CONDITIONS	
Cover Design by Kazumasa Nagai	

街の景観への彩色

永井一正

CSデザイン賞も第11回となり、この不況時にもかかわらず、応募作品のみならず、積極的に目についた作品を集めるなど、主催者の継続的な並々ならぬ努力がこの賞を充実させてきた。また、前回から募集を始めた学生部門は随分応募作品も増えて、学生のCSに対する知識も広がりこの賞の意義が拡大され定着してきたように思う。

装飾部門はウインドーディスプレイから工事現場の仮囲いまでその巾も広く優れた作品が集まったが、それに比べてサイン部門、輸送機器部門が少し淋しい気がした。ただサイン部門は現在企業の大型合併がおこりつつあり、それに伴うCIも増え次回はビジュアルアイデンティティとしてのCSの積極的使用が見られるのではないかと期待をしている。

今回の収穫は前回に引続いての大賞となった工藤青石デザインによる資生堂〈ウインドーディスプレイ2000〉であった。これはウインドー一面にスクリーンのようにハーフミラーのCSを貼り、裏からプロジェクターで様々に変化する2000の数字を白い光で表現するという方法で、全く新しいCSの使用法を創作している。空間に次々に現れる大小の、そして個と集合のタイポグラフィの美しさに魅せられる。2000年の幕開けにふさわしく格調のある現代的なディスプレイである。

装飾部門の金賞は、これも前回に続いての受賞となった菊竹雪の〈原宿Tビル工事現場の仮囲い〉であった。仮囲いの横長の面の所々に描かれたリアルな半開きのドア、そしてフックに掛けられたリアルなコート、それ等がモノクロで描かれ、赤の英文タイポグラフィでドアの側に「1999年秋までドアを開けるのを待って下さい」と入っているのを含めて、そのアイデア・デザインを楽しむことができる街の景観として優れた仮囲いである。

実験部門金賞の渡辺トシヒロの〈カラーベンチ〉はベンチ全面をグレーのストライプのグラデーションで覆い、周辺が明るく、中央部が濃くなっているため不思議な浮遊観があり、CSの基本的な使用法であるにもかかわらず新鮮な造形となり視覚に鮮やかな印象を残した。他にサイン部門銀賞の太田岳や、実験部門銀賞の秋山孝、銅賞の松井桂三などベテランデザイナーの活躍も目立ち、この賞を充実させた。

今回ロサンゼルス・ルイ・ヴィトンのウインドーディスプレイが海外特別賞になったことはCSの海外進出の可能性を示した。

学生部門金賞の井上百合香の仮囲いは高校生らしい若い感性が感じられその自由な発想に好感が持てた。こうして全体を見るとCSが今や街の景観への彩色となっていることがわかり、それだけに美しいデザインの数多い出現が望まれ、この賞の意義は増大しているように思う。

(グラフィックデザイナー)



Kazumasa Nagai

大 賞

作品名／資生堂くウインドーディスプレイ2000年 New Year>

ディレクター・デザイナー／工藤青石

クライアント／株式会社資生堂

施工／デザイン テイク ファイブ



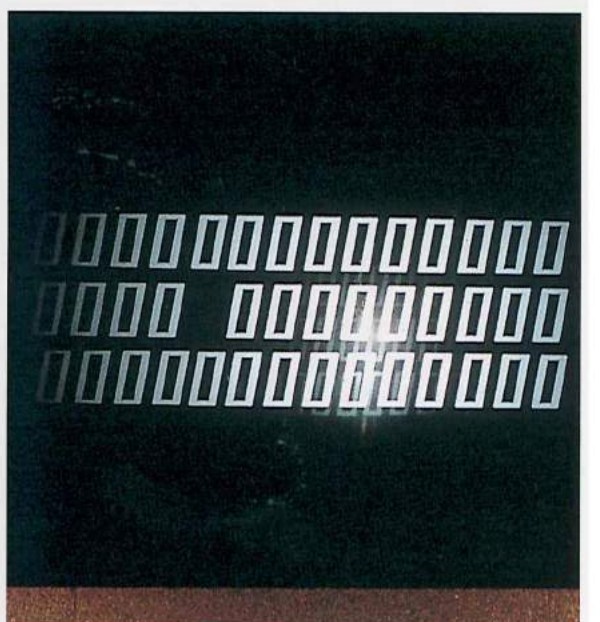
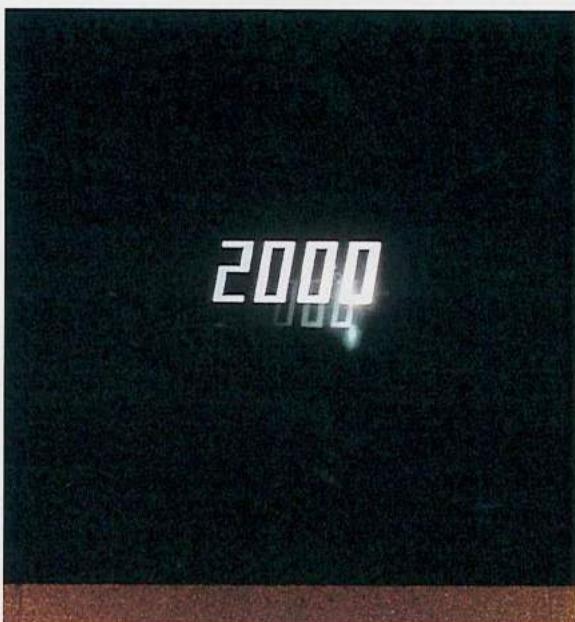
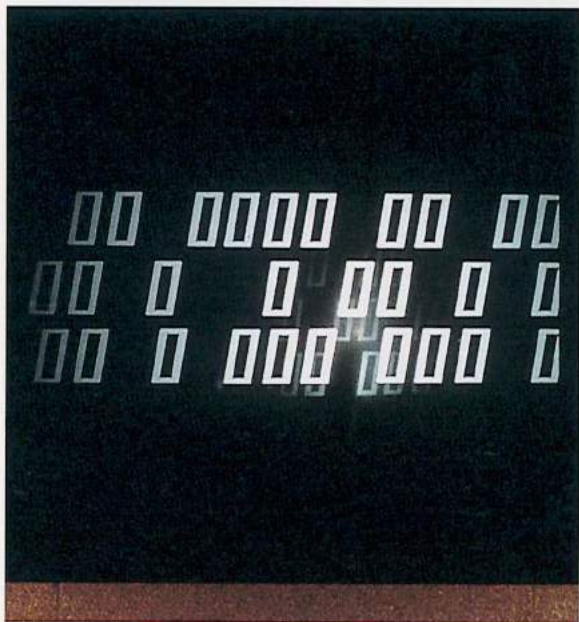
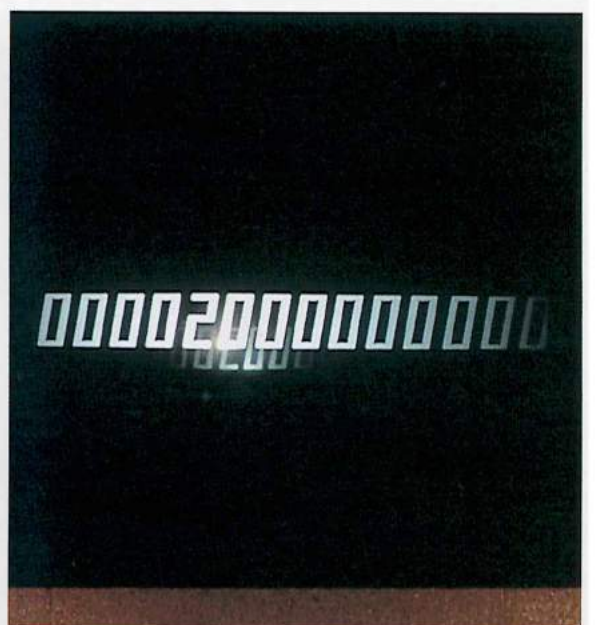
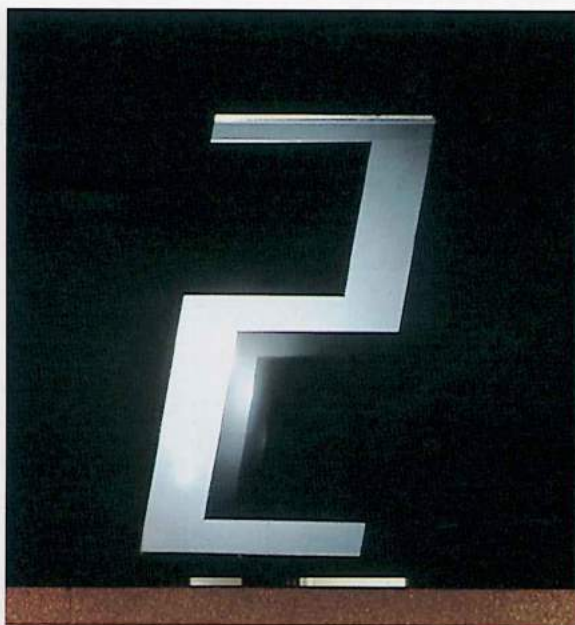
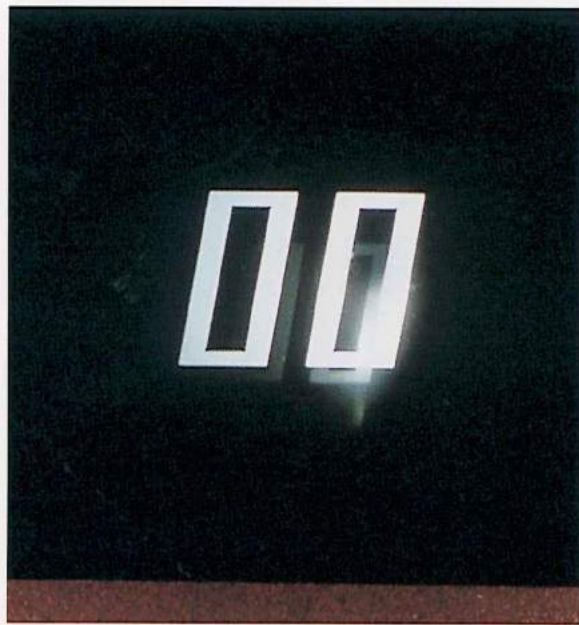
GRAND PRIX AWARD

Title / Shiseido Window Display "New Year 2000"

Director + Designer / Aoshi Kudo

Client / Shiseido Co., Ltd.

Constructor / Design Take Five



A: 装飾部門

金賞 作品名／原宿Tビル工事現場仮囲い

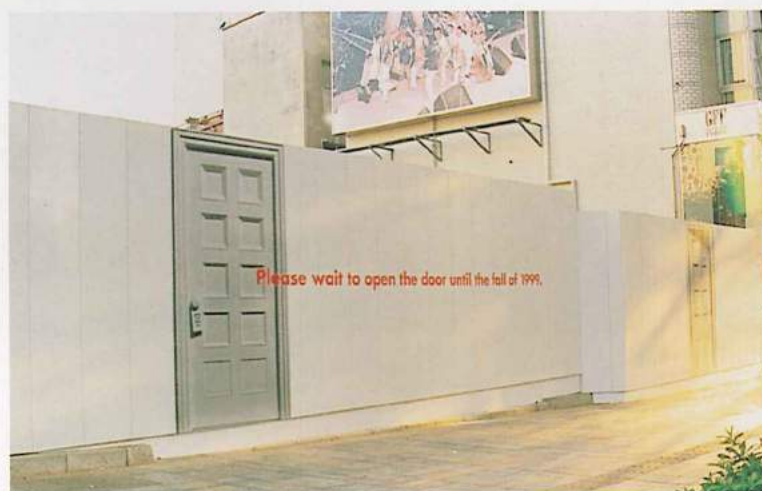
ディレクター・デザイナー／菊竹 雪

模型制作／春日亀美智雄 模型写真／森岡 純

プロデューサー／村井久美

クライアント／株式会社竹中不動産

施工／株式会社ローヤルカラー



A: DECORATION CATEGORY

Gold Award Title / Graphics on the Temporary Fence,
Harajuku T/Building Construction Site

Director + Designer / Yuki Kikutake

Model Construction / Michio Kasugame Model Photo / Jun Morioka

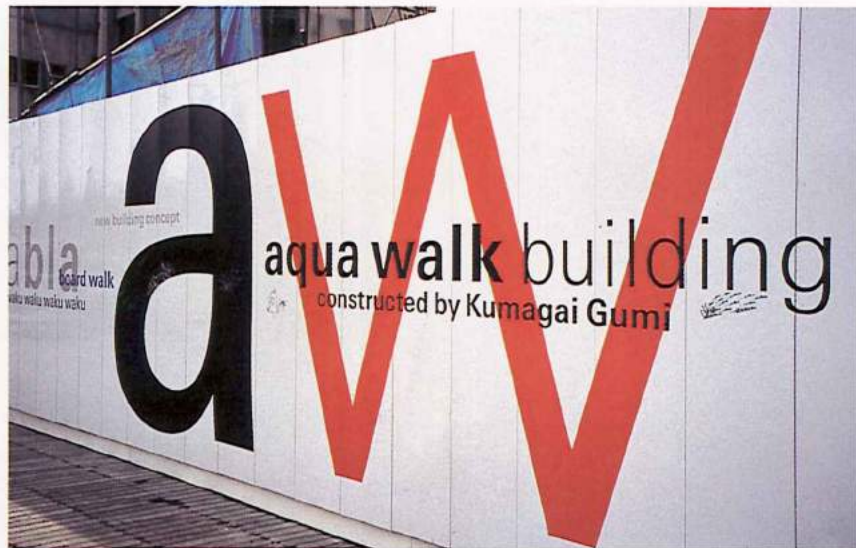
Producer / Kumi Murai

Client / Takenaka Real Estate Development Co., Ltd.

Constructor / Loyal Color Co., Ltd.

銀賞 作品名/D&Dビル新築工事仮囲い(徳島市)

ディレクター/山田照美
デザイナー/坂東孝明
コピーライター/立川真季
エージェンシー/株式会社熊谷組
施工・加工/株式会社サンエイ

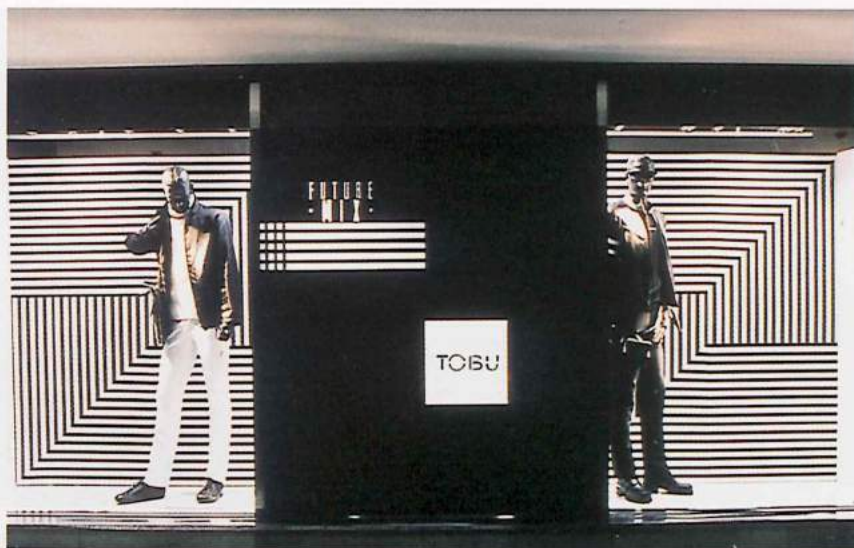


Silver Award Title / Graphics on the Temporary Fence,
D & D Building Construction Site, Tokushima City

Director / Terumi Yamada
Designer / Takaaki Bando
Copywriter / Maki Tachikawa
Agency / Kumagai Gumi Co., Ltd.
Constructor + CS Processor / Sanei Corporation

銀賞 作品名/Future Mix

ディレクター・デザイナー/大津元伸
クライアント/株式会社東武百貨店
施工/株式会社ノムラ デュオ イースト



Silver Award Title / "Future Mix"

Director + Designer / Motonobu Otsu
Client / Tobu Department Store Co., Ltd.
Constructor / Nomura Duo East Inc.

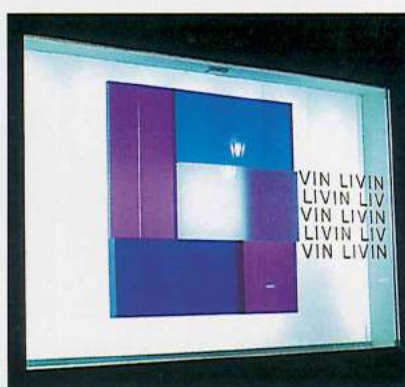
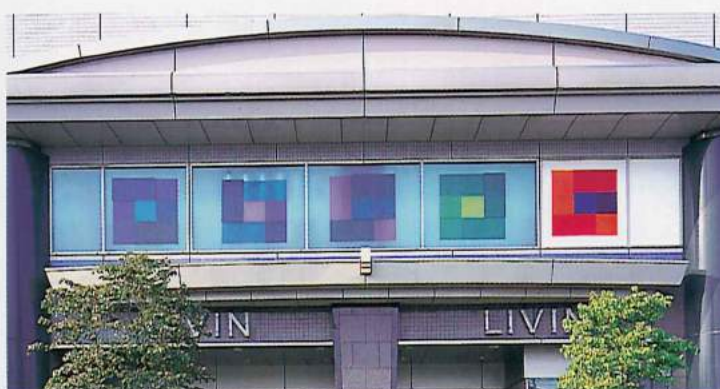
銅賞 作品名/LIVIN OPEN

ディレクター・デザイナー／吉岡宏記

デザイナー／新井えりか

クライアント／株式会社西友

施工／株式会社小林工芸社



Bronze Award Title / "Livin Open"

Director / Hiroki Yoshioka

Designer / Hiroki Yoshioka and Erika Arai

Client / Seiyu Co., Ltd.

Constructor / Kobayashi Kogei-sha Co., Ltd.

B:サイン部門

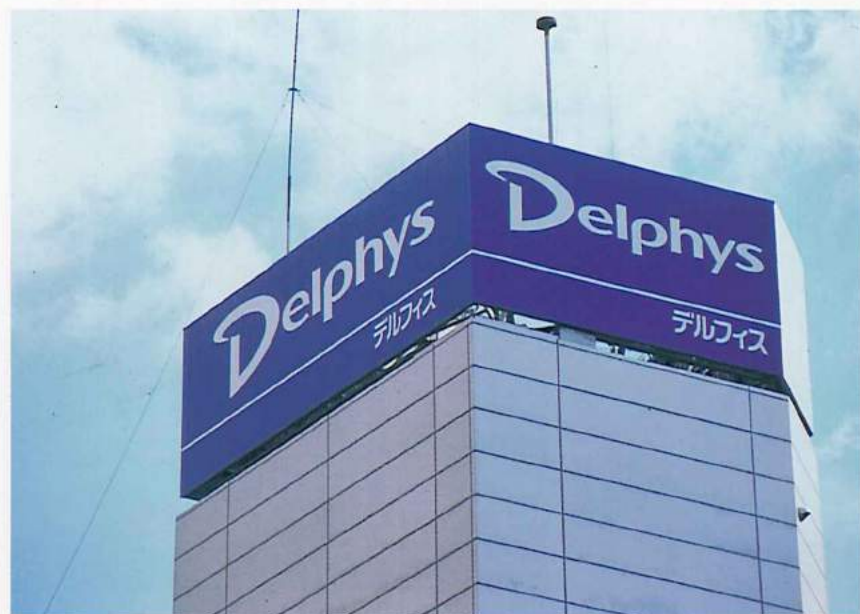
銀賞 作品名/デルフィスCIデザイン

ディレクター/太田 岳

デザイナー/太田 岳+森田利彦+株式会社日本デザインセンター

太田コーポレートブランドデザイン研究所

クライアント/株式会社デルフィス



銅賞 作品名/日産自動車 ディーラー 新VI

ディレクター/行正明央

デザイナー/飛岡正宏

企画プロデュース/松浦 仁

クライアント/日産自動車株式会社

エージェンシー/株式会社電通



B: SIGN CATEGORY

Silver Award Title / CI Design, Delphys Inc.

Director / Gaku Ohta

Designer / Gaku Ohta, Toshihiko Morita,

and Ohta Corporate Brand Design Division, Nippon Design Center

Client / Delphys Inc.

Bronze Award Title / New Visual Identity, Nissan Dealers

Director / Akio Yukimasa

Designer / Masahiro Tobioka

Plan Producer / Hitoshi Matsuura

Client / Nissan Motor Co., Ltd.

Agency / Dentsu Inc.

C:輸送機器部門

銀賞 作品名/チームイエローマジック フェラーリ F355GT レーシングカー

デザイナー/上原 勲

クライアント/チームイエローマジック

施工・加工/ピラキン看板店



銅賞 作品名/E26系 客車カシオペア色彩計画

ディレクター/福田哲夫

デザイナー/ナタリー・ジョルジュ+秋葉武男

イラストレーター/清水 暁

クライアント/東日本旅客鉄道株式会社

エージェンシー/TDO



C: TRANSPORT MACHINE CATEGORY

Silver Award Title / Team Yellow Magic, Ferrari F355GT Racing Car

Designer / Isao Uehara

Client / Team Yellow Magic

Constructor + CS Processor / Sign's Birakin

Bronze Award Title / Color Plan, "Cassiopeia" Passenger Train

Director / Tetsuo Fukuda

Designer / Nathalie George and Takeo Akiba

Illustrator / Hitomi Shimizu

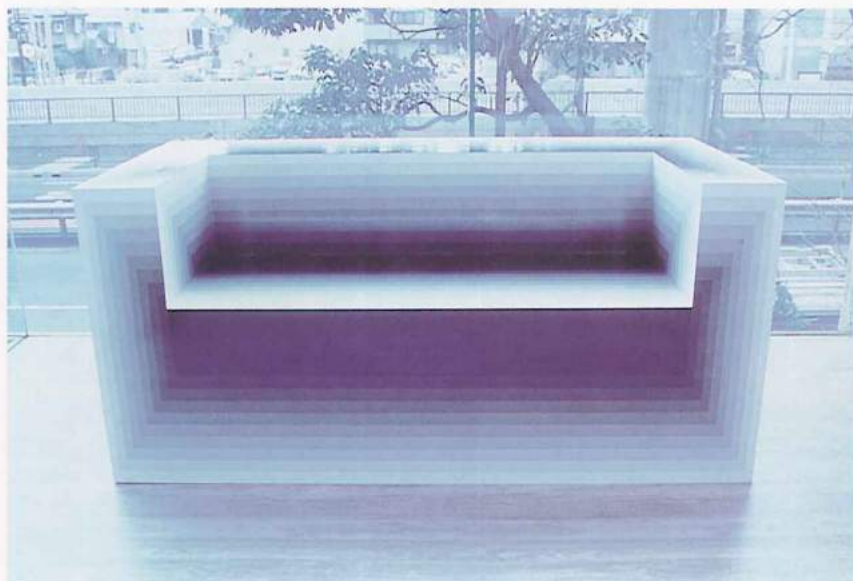
Client / East Japan Railway Company

Agency / Transportation Design Organization

D:実験部門

金賞 作品名/カラーベンチ

ディレクター・デザイナー / 渡辺トシヒロ
施工 / 高橋すすむ



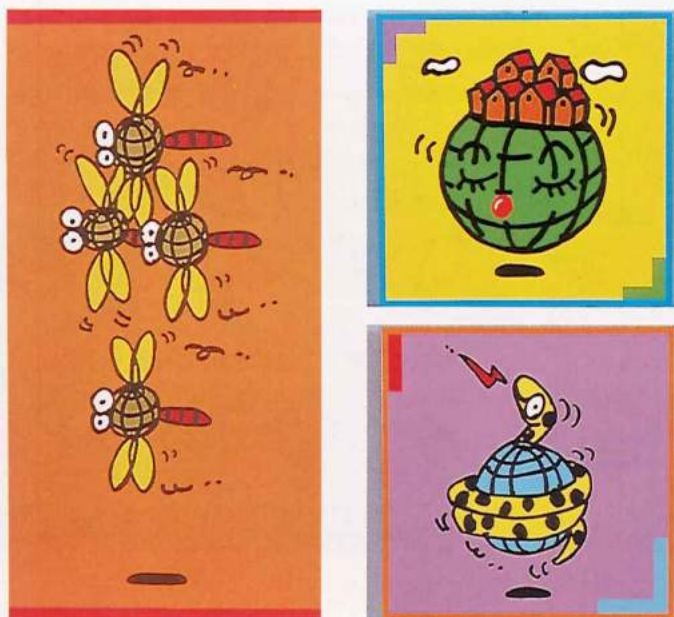
D: EXPERIMENT CATEGORY

Gold Award Title / "Color Bench"

Director + Designer / Toshihiro Watanabe
Constructor / Susumu Takahashi

銀賞 作品名/Eco Art 1999

ディレクター・デザイナー・イラストレーター / 秋山 孝
クライアント / ギャラリー・イセヨシ
施工 / 椎名太一



Silver Award Title / "Eco Art 1999"

Director + Designer / Takashi Akiyama
Illustrator / Takashi Akiyama
Client / Gallery Iseyoshi
Constructor / Taichi Shiina

銅賞 作品名/松井桂三展

ディレクター・デザイナー / 松井桂三
クライアント / DDDギャラリー
施工 / 株式会社フォトクラフト社



Bronze Award Title / Keizo Matsui Exhibition

Director + Designer / Keizo Matsui
Client / DDD Gallery
Constructor / Photo Craft Co., Ltd.

学生部門

金賞 作品名／仮囲いの装飾デザイン

デザイナー／井上百合香
東京都立大学附属高等学校

STUDENT CATEGORY:

Gold Award Title / Temporary Fence Decoration Design

Designer / Yurika Inoue, Regular Course, Senior High School affiliated to
Tokyo Metropolitan University



銀賞 作品名／仮囲いの装飾デザイン

デザイナー／今村 浩
日本大学芸術学部デザイン学科

Silver Award Title / Temporary Fence Decoration Design

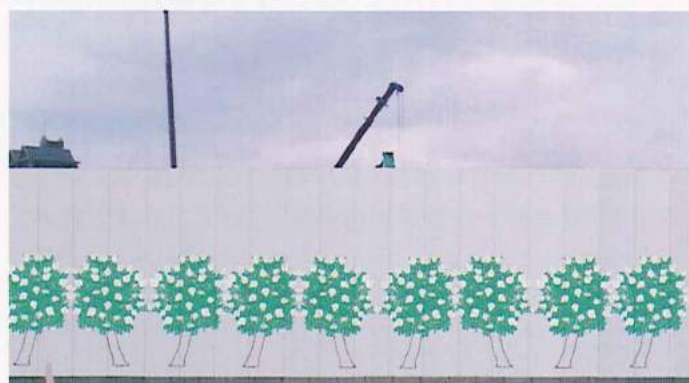
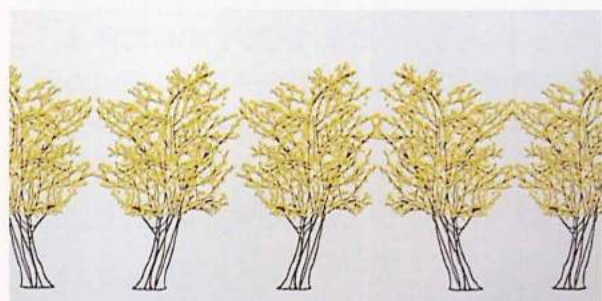
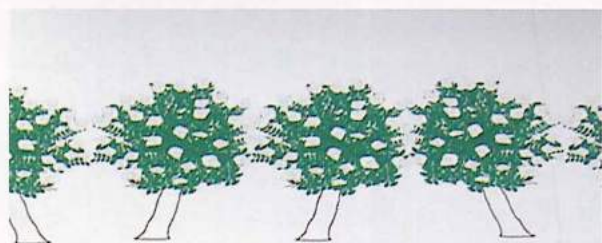
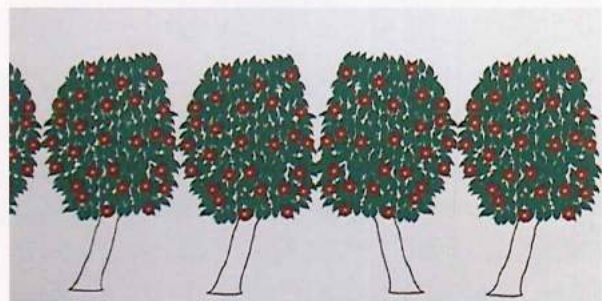
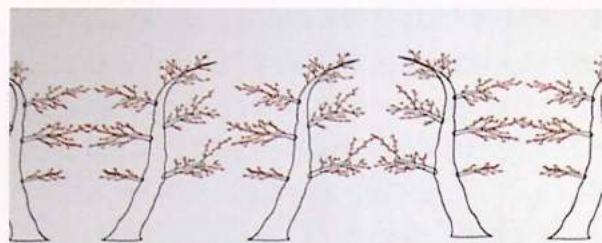
Designer / Hiroshi Imamura, Department of Design,
College of Art, Nihon University



図版は株式会社中川ケミカルによりNOCS2500カラーチャートに基づきシミュレーション制作されました。
Works were computer-simulated by Nakagawa Chemical Inc. based on the NOCS2500 Color Chart.

銅賞 作品名／仮囲いの装飾デザイン

デザイナー：岩本なお
創造社デザイン専門学校 グラフィック専攻



Bronze Award Title / Temporary Fence Decoration Design

Designer / Nao Iwamoto, Division of Graphics,
Department of Visual Design, Sozosha College of Design

学生部門：募集要項および応募報告

1998年第10回CSデザイン賞開催を記念して、学生部門を設け、広く学生作品を募集しました。今回は2回目の募集です。

募集作品は、中川ケミカル社製の装飾用シート（商品名 カッティングシートCS200・NOCS2500）の使用を前提としたデザインとし、以下のカテゴリーに分類しました。

- 1 工事現場仮囲いの装飾デザイン
- 2 車両の装飾デザイン（警察、消防、救急などの緊急車両や郵便などの特別車を除く）
- 3 児童館のファサード・玄関ホールの装飾デザイン
- 4 ショーウィンドーの装飾デザイン（業種不問）
- 5 自由課題（平面・立体を問わず実験的なもの）

募集期間1999年7月1日～2000年1月31日。審査は本賞の審査員によって、CSデザイン賞の審査と同時に行なわれ、金、銀、銅賞を選出。入賞者には、それぞれ金賞30万円、銀賞20万円、銅賞10万円の賞金と楯および賞状を贈呈します。

7ヵ月の募集期間中、全国より494点の応募があり、カテゴリー別の内訳は、(1) 354点、(2) 21点、(3) 21点、(4) 96点、(5) 2点でした。

なお、本賞と同様の諸団体よりご協力をいただきました。

Student Category:

Solicitation Conditions and Report

To commemorate the 10th CS Design Awards 1998, we newly established the Student Category and solicited works by students. So this is the second time works by students have been solicited.

The works to be submitted had to be designed and produced using cutting sheet (CS200 and NOCS2500) made by Nakagawa Chemical Inc. The works submitted were divided into the following five categories:

1. Decorative design of construction site temporary fences.
2. Decorative design of vehicles (excluding special vehicles such as police cars, fire trucks, ambulances and mail trucks).
3. Decorative design of facades and entrance halls of children's halls.
4. Decorative design of show windows (irregardless of type of industry or business).
5. Free theme (experimental works, can be either two- or three-dimensional).

The solicitation period was from July 1, 1999 to Jan. 31, 2000. Judging was carried out simultaneously with the judging for the CS Design Awards by the CS Design Awards judges and the winners of the Gold Award, Silver Award and Bronze Award were selected. The Gold Award winner will be given ¥300,000, a plaque and a certificate, the Silver Award winner, ¥200,000, a plaque and a certificate, and the Bronze Award winner, ¥100,000, a plaque and a certificate.

During the seven-month solicitation period, 494 works were submitted from throughout the nation. The number in each category was: (1) 354, (2) 21, (3) 21, (4) 96 and (5) 2.

Here we would like to acknowledge the kind cooperation of the various associations supporting the CS Design Awards.

2000年のカッティングシート・デザイン

田中一光



Ikko Tanaka



Sigeo Fukuda

カッティングシートに対する考え方が年を追って成長する。今やペイントや、シルク・スクリーンの代用というデザインはほとんど少なくなった。今回はとくに他の素材で得ることのできないカッティングシート独特の生かし方が目についたように思う。

大賞になった資生堂のウィンドーは昨年の大賞と同じ作家だそうだが、やはりそのコンセプトの新しさが群を抜いている。ガラス面に対して背後からの画像の投影によるものか不明だが2000年の0と2の数字のシンプルな構成が実に見事である。

A部門金賞の建築の仮囲いのデザインもグランプリと同様98年と同じ作家だが、その発想と造型に一段と冴えをみせる。開きかけたドアと、吊されたコートがリアルに描写され、思わず中に忍び込みたくなるような錯視効果を上げている。原宿らしいおしゃれなアイデアである。銀賞の〈東武百貨店のディスプレイ〉も白と黒に統一したストライプがファッションを引き立てオプティカルな効果を上げ、〈LIVIN〉のウィンドーも色彩がとくに美しい。

このようにA装飾部門は秀作がひしめき合っていたが、Bサイン部門は時代の反映か新しいCIの登場もなく不調に終わった。かろうじて、銅賞に上った〈NISSAN〉の赤と青によるステージの明快な区分と処理に、店舗計画の成熟をみせている。

また、今年はCの輸送器部門より、Dの実験部門に優れたものがあり、金賞の〈カラーベンチ〉と題する作品は、その鋭角的な形態とグレーのグラデーションが不思議な幻想をよぶ。

さらに、学生部門の金賞になった仮囲いも、暖色で、輪郭をつけたイラストレーションが、単純な中にも若々しい動きがあり、銀賞の雲、銅賞の樹なども型にはまらない初々しさに好感をもった。

(グラフィックデザイナー)

「公共デザインこそ 面白さを…」

福田繁雄

今年、11回を迎えたCSデザイン賞の上位入賞作品はサイン部門と輸送機器部門の金賞該当作品が無かったことは残念だったが、CSという素材の使い方のコンクールというスケールを越えて、デザインそのものの勝負という状況になったように思う。CSならではの効果もあって、今年もユニークな作品が入賞をさらう結果になった。装飾部門で金賞に輝いた、菊竹雪の〈原宿Tビル 工事現場仮囲い〉は前回につづいての入賞だが、壁という必然のシチュエーションに日常のはっとさせるトロンプ・ルイユで味付けさせたセンスは公共デザインに最も大切なデザインマインドだと思う。喜ばしい受賞だった。少し開いた扉の向こうは内なのか、外なのか、Please wait…と、ご挨拶もお見事だった。CSの効果を出したのは銀賞の〈東武百貨店〉のオプティカルパターンのディスプレイ。そして、〈徳島市のD&Dビル仮囲い〉のタイポグラフィ・コンポジション。コンセプトは常道だが完成度の高さで評価された。銅賞の〈LIVIN OPEN〉はスペルの送りど、一見無造作に見えるダブルカラーの面白さが不思議に調和して楽しい効果をあげていた。サイン部門と輸送機器部門はCSという素材の良さが目についた作品が多かったように思う。毎回、私は実験部門に期待をかけているのだが、渡辺トシヒロの〈カラーベンチ〉(作品のタイトルも重要なのですぞ!!)このグラデーションは迫力があって、家具はアート、という事を再確認させてくれた金賞受賞の実験作品だった。銀賞の秋山孝と銅賞の松井桂三は共に自分のオリジナリティをCSに託した工程で「この手もありか…」と説得させられた次第。海外特別賞の〈LOUIS VUITTON〉は、とにかく、近づきたくなるデザインだ。ハイキーなフォトイラストがルイ・ヴィトンのロゴで構成されている。未完成だが若々しいパワーが感じとれる。学生部門は前回にくらべレベルは高く、それなりの完成度が見事だった。特に金賞の井上百合香の作品は、流れ上昇する人間たちの行方を足を止めて、その変身ぶりを楽しめるストーリーの発想がある。語りかける物語がある。公共的なデザインに大切なコンセプトだと思う。

CSIはクリエイティブの素材にすぎないが、CSが新しい時代のクリエイティブを支えていると実感させてくれた今年のデザイン賞だった。

(グラフィックデザイナー)

第11回CSデザイン賞から環境ビジョン

菊竹清訓

第11回のデザイン賞の選考で作品をみて考えさせられたことは、カッティングシートは、魔法のテープであるということである。

光と色を自由自在に転換する、こういう新材料がでてきて、透明ガラスの建築は生きかえったように見える。その用途と利用範囲が想像をこえて広がってきたのは何故か、まず、透明性というトランスペアレンシーが強調できるようになったことがあげられよう。このことは空間の開放性を建築に与え、歴史的課題をやすやすと克服し、現実化する結果となったようである。

これが、ガラスの建築は、カッティングシートで生きかえったと、私の言う理由である。壁面がガラスである限り(そうでなくても)カッティングシートで、美しく豊かな表現が可能となった。

それに加えて、カッティングシートは、貼付たり、はがしたりが自由にできることに特徴がある。このことがデザイン賞で明らかにされた。デザインの時間的プロセスで、例えばショーウィンドーのデザインが、カッティングシートを貼りつけたり、はがしたりして変化させようということは、これまでにない時間的プロセスの面白さという新しい魅力としてとりあげられた。

興味ふかいことに、時間的プロセスで、雰囲気を変えることが、かなり簡単にできることが、デザインの考えを変えるに至っている。4次元のデザインプロセスを組みこんだ組立ては、意外性の効果もあって、これまでにない環境デザインの展開になってきた。

カッティングシートの展望は更に楽しくなってきたように思われる。

都市環境と言えば、街並のキャンペーンに集団建築で意図するような企画がでてきてもおかしくないかもしれない。かりに都心の商店街でいえば、次第に空洞化してきている街全体に活気を与えるようなことができるかもしれない。デザイングループで一つの基本モチーフにもとづいて、色彩・形態・文字・レイアウトなどを自由に選択し、組合わせて、これに光や影の効果を重ねてくると、一種のバーチャル・ストリートの実現となる。

さらに平面から立体に向かって、十階ぐらいの広場に面した建築群の窓ガラスを全部デザインすることを想像してみると、これは環境演出の新しいパフォーマンスになるに違いない。

建築の壁面に明らかにガラスが増えてきたこと、機械的ファサードを避けたヒューマンな感覚が求められてきたことなどで、駅前や街並の表情がカッティングシートで豊かになることは、住民にとって歓迎で広告や看板の街並に加えて、洗練された新しい都市の風景が生まれることを期待したい。

デザインで、トップを走っているわが国は、国内だけでなく、海外の諸都市の街の表情や景観の美化にもっと貢献ができるだろう。

(建築家)

時間・空間と対応したデザイン

内田 繁

前回のデザイン賞は、受賞したすべての作品を通して秀逸なものであった。造形、色彩、構成などどれをとってもカッティングシートの魅力を最大限に表現したものだった。そして何より驚きを覚えたのは、それらを支える創造力であった。もうこれ以上の作品は生まれないのではないかと思わせるほどのものだったのだが、果たして今回の大賞はそれを上回るものであった。

工藤青石さんの〈ウィンドーディスプレイ2000〉は一切の色彩を削除し、数字だけが変化するクールな作品である。ハーフミラーの特性を利用しながら、突然現れる2000の数字、それはハーフミラーに映しだされた街の景観に突如として現れ切り取られた抽象的な記号であった。街といった日常世界への、日常とは一切関わりをもたない記号の出現は、それだけでSF的世界をつくりだしている。2000といった瞬間を象徴するかのような多くのゼロによる構成、そして無数の変化は、私たちの現実世界を断ち切るほどの強さを表したものである。この作品は日常に突き刺したトゲのようなものである。色彩を削除し、ただただ記号の出現だけを意図したこのメッセージは、デザインの一般的表現である。造形、色彩、構成といった表現世界を一気に無力化する新たな挑戦であった。ディスプレイといったデザインジャンルは、多くグラフィカルな表現方法が中心となるものの、ディスプレイデザインの魅力は作品が自ら時間、空間と対応し、その流れとともに変化することにある。〈ウィンドーディスプレイ2000〉は、隠されたディスプレイデザインの本質を突くものであった。

装飾部門の金賞を獲得した菊竹雪さんの〈工事現場の仮囲い〉も日常世界の反転である。街、そして工事現場といった日常の外部世界を室内といった表現によって逆転している。そして何よりもそうした室内はヴァーチャルな世界であることをことさらに強調しているのが、扉にかぶさるように配置された文字の扱い方にある。"Something is waiting for you." といった何か意味あり気なメッセージは、扉が空間観を表しているのに対し、ぶっさらばうに平面世界を主張しているのである。そこには、仮想現実としての仮囲いが、仮想の街にかぶさっているといった構図が読み取れる。菊竹雪は、ここ数年仮囲いをテーマにしながら多くの作品を発表している。それは仮囲いを単なる装飾的問題とは考えず、テーマ内においてある種のメッセージに転換することによって、建築現場に、そして街に新たな視点を生み出しているのである。

(インテリアデザイナー)



Kiyonori Kikutake



Shigeru Uchida

THE 11TH CS DESIGN AWARDS JUDGES' COMMENTS

Coloring the Cityscape

Kazumasa Nagai

This is the 11th CS Design Awards, but the continuous, extraordinary efforts by the sponsors, such as not just soliciting works, but also constructively picking up eye-catching works, despite the continuing recession, enriched the awards. In the Student Category, which was established in the 10th CS Design Awards, the number of works submitted increased, and the knowledge of students concerning the CS expanded. Consequently, I believe that the significance of the CS Design Awards has been broadened and that the awards themselves have become firmly established.

The A: Decoration Category covered a wide scope from window display to construction site temporary fence, and outstanding works were submitted, but in comparison, I felt that the B: Sign Category and C: Transport Machine Category were somewhat cheerless. But presently major mergers of big companies are being carried out and attendant CIs are increasing, so I am hoping to see constructive use of CS as visual identity in the B: Sign Category in the 12th CS Design Awards.

The most outstanding yield this time was the Shiseido Window Display 2000 designed by Aoshi Kudo, who won the Grand Prix Award in both the 10th and 11th CS Design Awards. In this work, half mirror CS was pasted on the window surface like a screen, and the variously changing 2000 number was projected in white by a slide projector from the back. It created a completely new CS use method. People are fascinated by the beauty of the big and small typography, which appears one after the other in space and which consists of single numbers and aggregations. It is appropriate for the opening of the year 2000, and it is a stylish, modern display.

The Gold Award in the A: Decoration Category went to Yuki Kikutake's Harajuku T/Building construction site temporary fence. Kikutake also won the Gold Award in the A: Decoration Category in the 10th CS Design Awards. The realistic half-open doors illustrated here and there on the long fence surface, the realistic coats hung on hooks, the doors and coats illustrated in monochrome and, the English typography pasted in red on the side of the doors, "Please wait to open the door until the fall of 1999"—all these combined to make it an outstanding temporary fence in the town scene permitting people to enjoy the design idea.

In Toshihiro Watanabe's Color Bench, which won the Gold Award in the D: Experiment Category, the entire bench surface is covered by gray stripes in gradation. Since the fringes

are light in color while the center part is dark, there is a strange floating feeling. Consequently, despite it being a basic CS use method, it became a fresh form and left a vivid visual impression.

The activities of veteran designers, such as Gaku Ota who won the Silver Award in the B: Sign Category and Takashi Akiyama and Keizo Matsui who won the Silver Award and Bronze Award in the D: Experiment Category, were conspicuous and enriched the CS Design Awards.

That Louis Vuitton's Los Angeles window display was selected for the new Special Overseas Award indicated the possibility of the CS advancing overseas.

Yurika Inoue's temporary fence, which won the Gold Award in the Student Category, exuded the youthful sensitivity of a senior high school student, and I was favorably impressed by the free conception.

When the whole is viewed in this manner, it can be understood that the CS is now the coloring of the town scene and that, consequently, the appearance of many beautiful designs is desired. I believe that the significance of the CS Design Awards has been strengthened.

Graphic Designer

Cutting Sheet Design in 2000

Ikko Tanaka

Thinking concerning the cutting sheet grows and matures as each year passes. Now the number of designs, which are substitutes for paint and silk screen, has decreased drastically. I feel that this year the unique effects of cutting sheets, which could not be obtained from other materials, were conspicuous.

Shiseido's window display, which won the Grand Prix Award, was designed by the designer who also won the Grand Prix Award in the 10th CS Design Awards, but the novelty of his concept towered above that of all other works. Images were projected from the back on the glass window surface, but the simple composition of 0s and 2s from the year 2000 was really superb.

The designer of the construction site temporary fence, which won the Gold Award in the A: Decoration Category, as in the case of the designer of the Grand Prix Award work, also designed the Gold Award work in the 10th CS Design Awards, but her concept and formation have both become sharper. The half-open doors and the hanging coats have been realistically portrayed and have brought about the illusionary effect of making people want to involuntarily sneak inside. It is a chic idea so like Harajuku.

In the Tobu Department Store display,

which won the Silver Award, the black and white stripes set off the fashions to advantage and produced an optical effect. The colors were particularly beautiful in the "Livin" window.

In this manner, brilliant works were jostling each other in the A: Decoration Category, but the B: Sign Category ended in failure, with no appearance of new CIs, as if reflecting the times. Barely scraping through was the "Nissan" work, which won the Bronze Award and in which the clear distinction and handling of the stage by red and blue showed the maturing of the store plan.

This year, also, there were more outstanding works in the D: Experiment Category than in the C: Transport Machine Category. The work entitled, Color Bench, which won the Gold Award, aroused a strange illusion with its acute-angle form and gray gradation.

Furthermore, the temporary fence, which won the Gold Award in the Student Category, had a youthful movement amid simplicity in the illustration with contours in warm colors. As for Kumo (clouds), which won the Silver Award, and Ki (trees), which won the Bronze Award, I was favorably impressed by the naivety which did not run to pattern.

Graphic Designer

Public Design Should Be Interesting

Shigeo Fukuda

It was regrettable that no works were selected for the Gold Award in the B: Sign Category and C: Transport Machine Category in this year's 11th CS Design Awards 2000, but I felt that the Design Awards exceeded the scale of a concours on how CS is used and became a competition of design itself. There were results possible only with CS, and this year also unique works ran off with many awards.

Yuki Kikutake's Harajuku T/Building construction site temporary fence won the Gold Award in the A: Decoration Category. Kikutake also won the Gold Award in the same category in the 10th CS Design Awards 1998, but I feel that her sense in flavoring the inevitable situation called a fence with a surprising trompe l'oeil to clarify its routineness is the most important design idea in public design. Is the other side of the half-open door the inside or the outside? The notice, "Please wait.....," was excellent.

What effectively showed off the effect of CS was the Tobu Department Store's optical pattern display, which won the Silver Award. There was the typography composition of the D&D Building temporary fence in Tokushima City. The concept was ordinary, but it was evaluated for its high level of perfection. In

"Livin Open," which won the Bronze Award, the reduplication of spelling harmonized marvelously with the pleasantness of the double color, which looked artless at first glance, but which brought about delightful results.

There were many works in the B: Sign Category and C: Transport Machine Category in which the good points of the material called CS were apparent.

At every CS Design Awards, I place hopes on the D: Experiment Category. Toshihiro Watanabe's Color Bench (the title of the work is also important!) had impressive power in the color gradation, and it was an experimental work which reconfirmed that furniture is art. It won the Gold Award in this category. Both Takashi Akiyama who won the Silver Award, and Keizo Matsui, the Bronze Award, persuaded people that, "So there are such steps....," in the process of entrusting their original ideas in CS.

Louis Vuitton, which won the new Special Overseas Award, was a work which made you want to approach it. The high-key photo illustration is made up of the Louis Vuitton logo. It is incomplete, but you can feel a youthful power.

In the Student Category, the level of works was higher compared to the 10th CS Design Awards, and the extent of perfection was splendid. The work by Yurika Inoue, which won the Gold Award, particularly had the story idea of making people stop and enjoy the metamorphosis of people. It has a story which talks to you. I believe that this is a concept precious in public design.

The CS is nothing more than a creative material, but this year's CS Design Awards made me realize that the CS is supporting creativity in the new age. *Graphic Designer*

Environment Vision

Kiyonori Kikutake

What I was made to consider when judging the works for the 11th CS Design Awards was the fact that the cutting sheet is a magic tape.

With the appearance of such a new material which freely changes light and color, it seems that transparent glass buildings have been reinvigorated. Why did its use and utilization scope expand beyond imagination? First, it became possible to stress transparency. This point gave buildings the openness of space, easily overcame the historic problem and apparently produced the result of materialization.

This is the reason why I say that glass buildings were reinvigorated by the cutting sheet. As long as the wall surface is glass,

beautiful and rich expression became possible with the cutting sheet.

On top of that, the cutting sheet has the feature of being freely pasted on and peeled off. This point was clarified in the CS Design Awards. In the case of the time process of design, changing of the design by pasting on or peeling off the cutting sheet was taken up as a new appeal hitherto called the nonexistent pleasure of the time process.

What is very interesting is the fact that the possibility of quite simply changing the atmosphere in the time process has resulted in changing the thinking about design. The construction, which incorporated the fourth-dimension design process, resulted in the unexpected development of environment design which had not existed before.

It seems that the outlook for the cutting sheet has become even more delightful.

As for the city environment, it may not be odd for a plan, which is aiming at collective buildings in a city campaign, to appear. In the case of a shopping district in the city center, for instance, it may be possible to energize the entire city, which is gradually being hollowed out. If a design group, on the basis of a basic theme, freely selects and combines colors, forms, letters and layout and then overlays light and shadow effects, a sort of virtual street will appear.

Furthermore, if we imagine completely designing the glass windows of a group of 10-story buildings facing a plaza while going from a flat dimension to a solid dimension, it will doubtless become a new performance in environment production.

Residents welcome the clear increase in glass walls of buildings and the faces of station plazas and streets becoming richer through the use of cutting sheets, because people are seeking a human feeling, not mechanical facades. I would like to place hopes on the birth of a refined, new city scene besides streets with advertisements and signboards.

Our country, which is running at the forefront of design, can make greater contributions to the beautification of the faces and scenery of cities, not only in Japan, but also overseas. *Architect*

Design Accommodating Time and Space

Shigeru Uchida

All the works winning awards in the 10th CS Design Awards 1998 were excellent. In form, color and composition, they expressed to the fullest extent the appeal of cutting sheets. And what surprised me more than anything else was the creativity which supported the works.

They were all so good that they made me think no better works would be created, but the work which won the Grand Prix Award this year was, as a matter of fact, even better.

Aoshi Kudo's Window Display 2000 eliminated all colors, and it was a cool work in which only the numbers changed. While utilizing the special characteristic of the half mirror, the suddenly appearing number 2000 was an abstract symbol which suddenly appeared in the street scene projected on the half mirror and was cut off. The appearance of a symbol with no connection whatsoever to daily life in the everyday world in itself created an SF type world. The composition by many zeros, as if symbolizing the moment called 2000, and the countless changes expressed a strength that could cut off our actual world. This work is like a thorn piercing our daily life. This message, which excluded color and which aimed only at the appearance of symbols, is the general expression of design.

It was a new challenge which made powerless at one stroke the world of expression by form, color and composition. The design genre of display is centered mainly on graphic expression methods, but the appeal of display design lies in the work itself accommodating time and space and changing in line with the flow of time and space. The Window Display 2000 struck at the hidden essence of display design.

Yuki Kikutake's construction site temporary fence, which won the Gold Award in the A: Decoration Category, was also a reversal of the everyday world. The everyday world of town and construction site was reversed by the expression called indoors. What particularly stresses that such an indoors is a virtual world more than anything else is the placement of the words as if to overlap the door. The message, "Something is waiting for you," which seems to have a hidden meaning, is curtly stressing the flat world, whereas the door is expressing the space notion. Here, we can see the composition of the temporary fence as a virtual reality overlapping the virtual town. Yuki Kikutake has been creating many works these last several years with the temporary fence as the theme. She does not consider the temporary fence as merely a decorative problem, but she is creating a new viewpoint in town and at the construction site, through converting the theme into a certain type of message. *Interior Designer*

海外特別賞 SPECIAL OVERSEAS AWARD



Title /
Louis Vuitton Window Display
Designer / Louis Vuitton In-house
Window Design Team, Paris, France
Client / Louis Vuitton Malletier
Constructor + CS Processor /
JUMP! New York

Photographs: Louis Vuitton Rodeo Drive
Global Store window display.



作品名/
ルイ・ヴィトン ウィンドーディスプレイ
デザイナー / ルイ・ヴィトン 社内ウィンドーデ
ザインチーム (パリ)
クライアント / ルイ・ヴィトン・マルティエ社
施工・加工 / ジャンプ! ニューヨーク
写真はルイ・ヴィトン ロデオドライブ店



中川幸也

このたび第11回CSデザイン賞の開催にあたり全国より応募頂いた皆様をはじめ審査員の先生方、また変わらぬご支援を賜っている諸団体、関係各位の方々には厚くお礼申し上げます。

ペイントに変わる色の材料として開発されたシートは、その使い易さから、色の公害が懸念され、その事がこのCSデザイン賞の生い立ちになりました。その後のシート材料は、適切に街を彩りながら普及し、今やサイン、ショウウィンドー、車輛のボディ装飾等あらゆる分野で活躍するようになりました。最近、特にビル建築現場の仮囲いに優れたデザインが見られるように思います。

これまで街並の景観の上から、とかく気になっていたこの部分が近頃では道行く人々の目を楽しませてくれる素晴らしいデザインスペースとして成長しつつある事は、環境の上からも特筆すべき事と感じております。

ACKNOWLEDGEMENT

Yukiya Nakagawa

At this time, we would like to most sincerely thank those who submitted works from all over the nation for the 11th CS Design Awards, the hardworking judges, the various organizations which have continued to give their lasting support and everybody else concerned.

The cutting sheet, which was developed as a pasting material to take the place of paint, aroused worries about color pollution because it was so easy to use. These worries gave birth to the CS Design Awards. The cutting sheet came into wide use while appropriately coloring the streets and is now very active in various fields, including signs, show windows and vehicle body decoration. Recently, outstanding designs can be seen on temporary fences around building construction sites.

It is noteworthy from the environmental standpoint that the temporary fences, which were worrisome from the standpoint of street scenery, have recently grown into a wonderful design space gladdening the eyes of passersby.

第10回CSデザイン賞の記念イベントとして学生部門が設けられました。前回の経験がシート材料への理解を深め今回では飛躍的に優れた数多くの作品につながり、次回に向けて良い流れが出来たように思えます。

ここ数年、加工技術の向上やカッティングマシンの進歩によりシートデザインの可能性はますます広がっております。今後は新色の追加も含め、なにより使い勝手のよい色揃えが私供メーカーの最大の課題であると考えております。

21世紀を目前にして20年になろうとするこのCSデザイン賞をますます意味のある賞に育ててゆく所存です。皆様一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(株式会社中川ケミカル代表取締役社長)

As a commemorative event of the 10th CS Design Awards, the Student Category was newly established. We feel that the 10th CS Design Awards experience deepened understanding of the cutting sheet, led to many strikingly outstanding works being submitted for the 11th CS Design Awards and produced a good trend to the 12th CS Design Awards.

In the past several years, the possibilities of cutting sheet design have been expanded further as a result of the improvement of processing techniques and advances in cutting machines. We believe that the biggest problem facing makers is supplying an easy-to-use set of colors, including the addition of new colors.

With the 21st century coming up, we intend to nurture the CS Design Awards, which has a nearly 20-year history, into even more meaningful awards. We look forward to your continued support and cooperation.

President, Nakagawa Chemical Inc.



Trophy design by Takemasa Igarashi

第11回CSデザイン賞2000募集要項

「色を通じて社会貢献したい」と願う中川ケミカルが豊かな環境作りを目的にCSデザイン賞を設定し、広く作品を募集します。

募集作品

「貼る塗料」として、一般に市販されているサイン・デザイン・装飾用粘着シート（例く商品名）：カッティングシート、タフカル、NOCS2500など）を使用したもので1998年4月1日より2000年3月31日までにデザイン制作された作品とする。

A:装飾部門／装飾を目的として制作されたもの

建築ファサード：エクステリア・ウィンドディスプレイ・店舗・インテリア・イベントの空間（原則として閉会時に撤去されるもの）など

B:サイン部門／サイン及びサインシステム（CIも含む）の一部として制作されたもの

大型広告塔から店舗小型サイン・交通施設・住環境施設・複合施設のサインシステム

シンボル、モニュメント（記念碑・時計塔など象徴的でかつアイデンティティの強いもの）

C:輸送機器部門／車・航空機・船舶などの輸送機器全般の装飾（スポーツ・レジャー施設の乗り物もふくむ）

D:実験部門／平面・立体を問わず独創性のある作品

芸術・工芸作品・実験的なもの・その他（既発表、未発表を問わない）

審査員（順不同、敬称略）

永井一正（審査委員長）

田中一光

福田繁雄

菊竹清訓

内田 繁

後援団体（順不同）

社団法人 日本グラフィックデザイナー協会

社団法人 日本商環境設計家協会

社団法人 日本サインデザイン協会

社団法人 全日本屋外広告業団体連合会

社団法人 日本ディスプレイ業団体連合会

社団法人 日本ディスプレイデザイン協会

日本タイポグラフィ協会

協賛 日経デザイン

主催 株式会社中川ケミカル

The 11th CS Design Awards 2000 Solicitation Conditions

The Nakagawa Chemical Inc., which is hoping for a "Better World Through Color," established the CS Design Awards with the aim of creating a rich environment and is soliciting works for these awards.

The works to be submitted must have been designed and produced between April 1, 1998, and March 31, 2000, using any type of self-adhesive film for graphic applications generally sold as "pasting paint," such as Cutting Sheets, Tuffcal, NOCS2500 and others.

A: Decoration Category/ Those produced for decoration: Building facades, exteriors, window displays, stores, interiors and event spaces (in principle, those that are removed after completion).

B: Sign Category/ Signs and works produced as part of a sign system (including CI): Large advertising towers, small store signs and sign systems of traffic facilities, housing environment facilities and comprehensive facilities. Also symbols and monuments: Works which are symbolic and have strong identities such as monuments and clock towers.

C: Transport Machine Category/ Decoration of transport machines such as vehicles, aircraft and ships. Includes rides at sports and leisure facilities.

D: Experiment Category/ Works with originality regardless of whether they are two- or three-dimensional. Arts, crafts, experimental works and others (can be either published or unpublished, submitted to other competitions or not).

Judges

Kazumasa Nagai (Chief Judge)

Ikko Tanaka

Shigeo Fukuda

Kiyonori Kikutake

Shigeru Uchida

Supporters

• Japan Graphic Designers Association

• Japanese Society of Commercial Space Designers

• Japan Sign Design Association

• Japan Typography Association

• Federation of All Japan Outdoor Advertising Association

• Nippon Display Federation

• Japan Display Designers Association

Cooperator Nikkei Design

Sponsor Nakagawa Chemical Inc.

カタログ制作／株式会社中川ケミカル 第11回CSデザイン賞係 2000年7月

編集／グラフィックデザイン社

表紙デザイン／永井造形研究所

レイアウト／石津喜美子

英訳／藤田シグ

Catalogue Production:

The 11th CS Design Awards Section,

Nakagawa Chemical Inc., July 2000

Edited by Graphic Design Associates

Cover Design: Kazumasa Nagai Design Institute

Layout: Kimiko Ishizu

English Translation: Shig Fujita

人間空間に色をさす



株式会社
中川ケミカル

本社:〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-7-13 相良ビル TEL.03(3668)8141(代)

大阪営業所:TEL.06(6543)2661(代) 札幌営業所:TEL.011(736)4788(代) 仙台営業所:TEL.022(271)9003(代) 名古屋営業所:TEL.052(586)5681(代) 福岡営業所:TEL.092(431)3013(代)
NAKAGAWA CHEMICAL INC.

Head Office : Sagara Bldg., 3-7-13 Higashi-Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0004, Japan, TEL.03(3668)8141

Osaka Office : TEL.06(6543)2661 Sapporo Office : TEL.011(736)4788 Sendai Office : TEL.022(271)9003 Nagoya Office : TEL.052(586)5681 Fukuoka Office : TEL.092(431)3013